

# さぽせんニューズレター

2012年冬号  
Vol.32



## 映画で茅ヶ崎を元気にしよう！(第6回茅ヶ崎維新カフェ)



▶日時: 2月11日(土)18:30~20:30 ▶場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター  
▶参加人数:34名▶ゲスト:輪輪シネマ(高林健さん、長谷川文乃さん)

「新しいカタチの映画鑑賞空間」をテーマに、茅ヶ崎に映画館をつくるために活動している20代の若い2人が、夢の実現に向けた道のりと熱い想いを語ってくれました。「興行にこだわりを持つ理由は、観に来てくれた方と直接触れ合っ感想を聴くことができるからです。おもしろいと言っただけだとすごく嬉しい。また、人としての考え方や、鑑賞後に行動に移していく様子を見て“映画の力”を感じています。」(高林さん)

「私たちは、匂いが出るものを食べることや、途中退席することが気まずいといった空間だけで映画を観なくても良いと思っています。たとえば、赤ちゃんを連れてきてもいい。喋りながら観てもいい。そんな新しいスタイルを自主上映の中で取り入れていきたい。」また「映画が湘南ならではのライフスタイルの一部に取り入れてもらえるようにしたい。海での上映会もやってみたい。」(長谷川さん)

4月には「さすらいの女神(ディーバ)たち」を上映する予定。今後も湘南では観ることができないアート系・ミニシアター系の“新作”にこだわり、移動式映画館として定期的な上映会を行う。そして10年以内の常設館設立を目指し、映画にあったバリエーションに富んだ企画、イベント性を重視した活動をしていくそうです。自分たちの夢を伝え、たくさんの人たちを巻き込んでいく行動力と、思わず応援したくなる魅力がいっぱいのお話でした。



長谷川さん、高林さん、スタッフの須山さん



後半は参加者が3つのテーマ「これから観たい映画」、「上映スタイル」、「映画で社会を変える」から1つを選び、グループを作り交流会を実施しました。自主上映会を主催している方々はもちろん、これからの実施に向けてワクワクしている方、映画をこよなく愛する方、映画の力で本気で社会を変えたい方々が集まり、話し出したら止まらないアツイトークが繰り広げられました。

終了後も「いろいろな世代の方と交流できてとても良かった」「映画好きな人と出会えてうれしかった」「また参加したい」などの声が寄せられ、いつまでも余韻が残るカフェになりました。

今後ますます映画が身近になり、茅ヶ崎の人と人との輪が広がることを期待しています。

輪輪シネマによる茅ヶ崎の自主上映会情報サイトが近日オープン予定。チェックしてみてくださいね！

輪輪シネマのHPはこちら <http://wawacinema.com/>



▶日時:12月2日(金)18:30～20:30 ▶場所:茅ヶ崎市民活動サポートセンター▶参加人数:29名  
▶講師:早坂毅氏(税理士・横浜市立大学講師)

NPO法人会計基準の基本的考え方は、市民にとって分かりやすい、社会の信頼にこたえる会計報告であるということ。そのために全国で統一した会計基準を積極的に活用していこうと学習会を行い、活動計算書や財産目録の記載例、現物寄付や無償サービスの受入、ボランティアによる役務提供など、数字にするのが難しい援助事実をどのように会計報告に反映させていくのか、NPO活動に適した報告書の作り方を学びました。

参加者からは、「NPOを支える寄付者に信頼と共感を得てもらうために、NPOが活動報告や財務状況を開示することの重要性がよくわかった」との声が多く聞かれました。「NPO法人会計基準」「実担当者のためのガイドライン」冊子は、サポートセンターでも閲覧・貸出ができます。相談も受け付けていますので、ご利用ください。



### がんばるNPOの役にたつ 生きたお金の使い方

#### NPO法人 必見

3・11の東日本大震災の後、国民4人のうち3人は寄付をしたともいわれ、誰かの役に立ちたい、応援したい思いがお金に託されました。また、昨年6月、NPOにとって革命的な法律の改正があり大きな転換期を迎えています。

新寄付税制では、NPOが認定を受けやすくなり、認定NPO法人に寄付する人には最大で寄付額の5割を納税額から差し引くことができるようになりました。

3000円の寄付を100人から集めれば、認定NPO法人になれる制度もスタートしています。

NPOはいいことをしていてもお金がなければ活動は継続できません。支える人の広がりや信頼をえなければ社会を変えることもできません。そこで、コンビニの数とほぼ同じくらいあるNPO法人が本気で寄付集めをすれば、「NPO」も「寄付」も身近なものになるはず。若者が夢をもちつつ働き続けられるNPOを増やすために、多くの市民が支える側になることを期待して、せっせと情報発信をして、共感を集めて寄付文化を育てましょう。

神奈川チャリティアクション・キャンペーンのサイトではNPOの寄付に関する情報を募集しています。

ロゴマークも使用できます。詳しくは「かなチャリ」(<http://kanachari.jp/>)で検索してください。



### 協働推進事業(市民・行政提案型)の候補が決定!

8月の「NPO等と行政の協働に向けた意見交換会」、10月の「公開プレゼンテーション」を経て、事業候補が決まりました。今回は事業提案・実施に結び付かなかった団体も、日々の活動で行政と役割分担をしたり、げんき基金(平成24年度の公開プレゼンテーションは3月20日(火)です。)に申請したりするなど、達成したい目標や方向性が定まり、一歩先に進むきっかけとなりました。

サポートセンターでは、団体の運営に関することはもちろん、市との協働事業やNPO法人設立・認定NPO法人取得など様々な相談を随時受け付けています。お気軽に来館または電話/メールにてお問い合わせください。

#### ★市民提案型(2事業)★

◆「新しい公共の担い手ブラッシュアップ事業」	
団体	NPO法人湘南ふじさわシニアネット
担当課	市民自治推進課
概要	多くのNPOが、より多くまた深く公共サービスを提供できるようにするため、NPOの実態調査やセミナー・ワークショップの開催、専門人材バンクを構築する事業を実施する。
◆「インターネットを活用した情報発信による子育て支援事業(2か年継続事業)」	
団体	NPO法人湘南スタイル
担当課	子育て支援課子ども育成相談課・保育課
概要	ウェブサイトの構築、SNSなどを絡めた子育て関連情報発信のプラットフォームをつくる。小学校入学前(0から5才児)の子どもを持つ親、またその祖父母を対象に、情報発信による子育て支援を行なう。

#### ★行政提案型(2事業)★

◆「生涯学習ガイドブックデータ検索システムの構築」	
団体	NPO法人湘南ふじさわシニアネット
担当課	文化生涯学習課
概要	生涯学習ガイドブックデータ検索システムを構築する。
◆「千ノ川の水循環啓発事業」	
団体	「生きのこれ川」の応援団
担当課	下水道河川建設課
概要	川についての連続講座を開催。春と秋のグリーンキャンペーンと、夏休みの企画も実施。隔月のニュースレポートの発行や「おさんぽマップ」を作成する。

\*いずれも2012年度実施予定です。各事業の総事業費及び市の負担額など詳細は、市HPをご覧ください。



## ぱりあふりーカフェ 障がいがあっても楽しくつながり働きたい

▶日時:11月13日(日) 14:00~16:00 ▶場所: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター ▶参加人数:39名

「秘めた力を実力に」と題してパソコンに関心のある人、パソコンができるようになりたい人を対象に開催しました。障がい者のパソコン支援をしている NPO 法人パソコンボランティア湘南の大木伊都子理事長から障がいに合わせて操作の方法やソフトの紹介がありました。その後、実際に支援を受けている人や、指導をしている先生からのお話があり、少しでも仕事につなげたいとの思いが伝わってきました。



パソコン指導をする大木氏(左)



関野賢志氏(写真中央)も支援をうけて  
国際アビリンピック2011で銀賞受賞

今回のカフェがきっかけとなりパソコンの支援が始まった人もあり、とても良い機会となりました。

また前々回のぱりあふりーカフェのゲスト行成文男氏(キャリアサポーター)から「働く」ことをベースとして「自分らしく生きる」ことの支援についてと話をいただきました。

サポートセンターでは就労の機会が得にくい方に社会参加の場を提供しています。

現在センターで働いている二人の方に仕事の内容や今後やってみたいことなどを聞いてみました。

### 地域の利用者のお役に立ちたい……

私の仕事は、新着図書のタイトルや、イベント情報等のパソコン入力です。『さぼせんニュースレター』等の広報紙を印刷し、その配布準備で帯封に宛先ラベルを貼る日もあります。

仕事をする中で多くの NPO に触れて視野が広がり、又、生活リズムが改善し健康的に暮らせています。

少しずつ Word と Excel が使えるようになり、現在スキルアップのために、月2回指導を受けています。

今後も地域の利用者の方々のお役に立てるように頑張ります。



### パソコンが楽しくなりました……

私はサポートセンターで働き始めて1年になったところです。今は、茅ヶ崎地域の事や NPO 法人に関する記事の掲示やパソコンで入力作業、印刷機の補助の仕事をしています。ここに勤務してからサポートセンターを利用している市民の方がかなり多いことに気が付きました。

パソコンを使っていなかったのですが、忘れていたことがありましたが、スタッフの方から丁寧に教えていただき、楽しくなってきました。もっと勉強して皆さんの役に立ちたいと思います。



## NPO 映像メディア活用講座 2

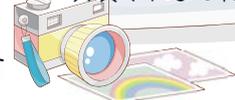
▶日時: 11月5日(土)10:00~17:30 ▶参加人数: 7団体 21名

▶制作指導:NPO 法人湘南市民メディアネットワーク

前回学んだことを念頭に、持参したデジカメなどのデータを映像編集ソフト VideoStudio で加工。指導側からの助言や各自のアイデアを生かした、視聴者に訴える団体 PR やメッセージ映像作品づくりができました。

3/3(土)のワイワイまつりの会場で、完成作品を一部上映する予定です。これから活動 PR 映像を制作したい団体には、編集ソフトの貸出(有料)とサポートを行いますので是非挑戦してください。 ※上映音響をアップできるスピーカー貸出可

※今回作成した作品を「第3回かながわ NPO 映像祭」に出展し「NPO 法人一心ー(いっしんよこいち)」さんが「特別賞」を受賞されました!



## さぼせんサポーターズ 活動開始!

現在 12 名が登録されています。引き続き社会的な課題解決に取り組む NPO のスキルアップやサポートセンター運営の補助をボランティアに支えてくださる熱意ある方のご登録をお待ちしています。

仕事や趣味などで得たノウハウやスキルを活かして

- 1 利用者の IT スキルアップやセンターの IT 業務をサポート
- 2 センター主催事業(ワイワイまつりなど)の運営をサポート
- 3 NPO の運営基盤(税財務・会計・経理など)をサポート



利用者さんへパソコンのサポート、好評です

11月22日(火) ボランティア塾 in 鶴嶺高校

# 今年のおもなテーマ:「人権」と「震災ボランティア」

総合学習の一環で行われた「ボランティア塾」は、市民活動団体から地域社会の課題解決の方法を直接聞いて学ぶ授業です。1年生320名は予め関心のあるテーマを選択し、各教室ではそれぞれ工夫を凝らした塾が展開されました。

災害関連の活動では「わーく編集部」は大船渡から被災した新聞記者を講師に迎えて現地報告。名取市閉上(ゆりあげ)の写真洗浄「ハートプロジェクト茅ヶ崎」(写真)では実際に生徒が洗浄を体験しました。これらの活動を知って「現地に行きたい」「被災地を見て自分に何ができるか知りたい」などの感想文が多く寄せられました。



## ボランティア塾 講師のみなさま

筆記通訳サークル「虹」/NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン/ヒロシマを語る会/三翠会/ユース・フォー・ヒューマンライツ日本支部/ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)/どんぐりさんのおもちや箱/ミクシテ「ちがさき男女平等参画プラン」を推進する会/茅ヶ崎・宮澤賢治の会/わーく編集部/ハートプロジェクト茅ヶ崎/災害ボランティア/子育て支援ボランティアグループきらきらぼし

## ……Team Aid for Japan しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア(TAJ)からのメッセージ……

2月11日に南三陸町戸倉地区の仮設住宅にて交流会を実施しました。茅ヶ崎からは総勢38名が参加。支援物資(150人分)のお届け、集会場で落語やビンゴ等のイベント、焼きそば・お雑煮等でお食事会、マッサージ、子供達とのスポーツなどで皆様と直接ふれあうことができ楽しい時間を共有することができました。

サポートセンタースタッフのみなさまにはお餅に引き続き、物資の受け付けや保管をしていただきありがとうございました。



鶴嶺高校 1年生  
行ってみたいこと



私が今回参加した一番の動機は、自分を成長させたいという思いでした。今回参加してみて、震災からもう11ヵ月も経っているのに、がれきなどが残っていてショックだったし、表に出せない心の声などの目に見えない課題も感じました。しかし、この現実をどうすれば良い方向へ持っていけるか。それを考え、日々を大切にしたいです。

♡弘瀬桃子♡

いってきます、また明日、ただいま、おやすみ。こんな言葉を、当たり前のように身近な人と交わることが、どんなに幸せな事か。いつ何が起きるかわからないこの世界で、誰もが死と隣り合わせで生きている。

失ってから気づくより、今から感謝をしていこう。

当たりの幸せに気づいたら、

新しい朝がきっと輝く。 ♡巻淵伶奈♡

震災の日、テレビでその様子を見て自分も被災地に何か直接手助けがしたいと思い参加した。だがテレビと現実とは違った。目前には人が生存していた証である瓦礫。翌日が卒業式だった中学校は全員卒業が出来なかった。これらの悲惨な姿を見て私はどうすべきか？ 答えは一つ。亡くなった人の分まで私達が生きることだろう。

♡鈴木麻耶♡



現地の人たちが本当に必要としている物、コトとは何なのだろう。報道では知りえなかった情報が多くあり特に強く感じたのは心を痛めた沢山の被災者の存在です。そんななか元気いっぱい笑顔な子どもたち。高校生には話しかけやすいみたいで色々な気持ちを話してくれました。今の私にできるのは現地の人たちから話を聞くこと。この経験を次に生かし続けたいです！ ♡菊池モアナ♡

予告

## さばせんワイワイまつり 2012 「寄りそう心 つながる縁(えにし) ~ほっとけないべ!」

▶日時: 3月3日(土) 10:00~15:30 ▶場所: 市民活動サポートセンター & 茅ヶ崎中央公園

今年のテーマは、これまで以上に「寄りそい」、今を生きる多くの人たちと「つながり」そして「一人ひとりが支えあって暮らしていくために、自分たちができること」を一緒に考えるイベントにしたいという願いを込めました。 \* 詳細はチラシ・HPをご覧ください。



さばせんニューズレター2012年冬号(2012年2月25日発行)通算32号

編集・発行 特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき 発行責任者 益永律子

〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

TEL/FAX: 0467-88-7546 Eメール: [s-center@pluto.plala.or.jp](mailto:s-center@pluto.plala.or.jp) ホームページ: <http://sapocen.net/>